ちょっといわせてはいよ

今日の日はさようなら

2011年4月から中国国際交流員として熊本市役所へ勤務された盧芳輝さんが一年間の任期を終え、帰国されました。一年間の想い出をご寄稿いただきました。

熊本市 中国国際交流展 盧芳輝

石匠館の前で、留学生たちと。

歳のせいか時間がたつのが速いものだと感じてしまいます。熊本に来た最初の記憶をまだはっきりと覚えていますが、もう「さようなら」と言わなければなりません。梅雨がジメジメとした小雨だろうと思ったのですがなんと大雨！蒸し暑い夏に降る夕立ち、カラッと晴れていた秋、そして風が寒くて時々雨か雪が降る冬…季節がはっきり分かれている日本と言っても熊本の四季はほかの地方とは違うところが多いです。こうして、一年未満の交流員として熊本での生活を送ってきた私はこの春を迎えて、帰国することになります。春になれば気持ちも一転するとよく言われ、確かに、私は、緑が増えつつ、迎春や梅の花が相次いで咲き始める熊本の季節の変化を楽しんで毎日市役所へ通勤しています。

振り返れば、初めて日本で生活と仕事をするせいか、いろいろ大変でしたが、いい勉強にもなりました。旅行や短期研修の滞在とは違う体験もたくさん出来ました。仕事の内容は主に翻訳と中国語のチェックですが、月に「外国を知ろう」サロンが2回と「つきいち世界を知ろう」（子ども対象）1回と中国の文化を中国語で紹介する「中国語サロン」、学校訪問2回か3回も含まれています。また、公民館か他の施設で一般市民の方々と一緒に料理を作ったり、話し合ったりしたほかにも、大学生と高校生と阿蘇で国際ボランティアワークキャンプに参加し、雄大な阿蘇高原の自然に感動しました。また、来熊した訪問団と研修生のための出迎えや通訳なども仕事の一部分でした。変わるテーマ、違うお客さんでいずれも新鮮味さが味わえる仕事でした。翻訳や通訳によって、自分の言語能力が鍛えられたし、サロンを通じて、日本やほかの交流員の国の文化習慣や考え方の違いが分かるようになりました。学校訪問と「つきいち世界を知ろう」で親切な先生方と可愛い子供たちと一緒に遊んで、楽しい思い出がいっぱい出来ました。学校の給食も美味しかったです。

阿蘇で。

今年の1月、上海事務所の開所式、第1回の熊本城国際マラソン大会など記念すべきイベントに参加できてとてもラッキーで感謝しております。市役所と上海事務所の職員の仕事ぶりにはいつも感心しています。熊本の美味しい湧水、素晴らしい自然と豊かな歴史史跡、美味しい農産物と魚などをもっと世界にPRしようとする気持ちがよく分かります。同じように自然と歴史が豊かな広西壮族自治区から交流員として参りました私にも何か相互交流に役立つことができればいいなあと常に思っております。

中国にいる友達から「熊本に来てどう思う?」と聞かれましたが、「友達ができてよかった」と答えました。買い物に連れて行ってくださった方、親切に声をかけてくださった方、引っ越しの時に手伝ってくださった方、遠足に連れて行ってくださった方、「ありがとうございました。」お陰様で寂しくなく、充実した日々を送ることができました。中国に帰って家族や友達や学生たちに伝えられることが一杯あります。

皆さん、「今日の日はさようなら」という歌、ご存知ですね。今日の日はさようなら、また逢う日まで…

クリスマスに友達と。

菊池で。

動植物園市民コミュニティーセンターのハイディー英会話クラスで。